

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公開番号】特開 2005-207180 (P2005-207180A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-030
 【出願番号】特願 2004-17145 (P2004-17145)
 【国際特許分類】

E 0 4 C 2/04 (2006.01)

E 0 4 F 13/08 (2006.01)

【F I】

E 0 4 C 2/04 C

E 0 4 F 13/08 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 4 日 (2006.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

図 1 に本発明を実施するための最良の形態を示す。この A L C パネル 1 においては、本硬化したパネル素材 2 の表面に、転写ローラ 3 の凸部 4 が押し付けられることで、不規則な形状の意匠凹部 5 が多数個分散状に形成されている。意匠凹部 5 の深さは 5 ～ 1 0 m m に設定され、幅は 5 ～ 1 2 m m に設定されている。パネル素材 2 の横断線上に位置する意匠凹部 5 の幅寸法の合計値はパネル素材 2 の幅の $1/2$ 以下に収められている。意匠凹部 5 の底は、角が生じないように曲面 6 (図 4 参照) とされている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

図 3、図 4 に示すように、意匠凹部 5 の深さは個々別々であるが、5 ～ 1 0 m m の範囲内に設定されている。意匠凹部 5 の幅は不統一であるが、5 ～ 1 2 m m の範囲内に収められている。意匠凹部 5 の断面形状は不規則であるが、各意匠凹部 5 の底は曲面 6 とされている。また、パネル素材 2 の横断線上に位置する意匠凹部 5 (図 4 に示す 1 0 個の凹部 5) の幅寸法の合計値は、パネル素材 2 の幅 (6 0 0 m m) の $1/2$ 以下に設定されている。なお、パネル素材 2 と転写ローラ 3 との間のクリアランス 2 0 (図 2 参照) は、ボルト 1 6 で 3 ～ 5 m m 程度に調整されている。